

プロロジス、「プロロジスパーク千葉 1」契約率が 100%、
竣工前の「プロロジスパーク千葉 2」は契約率 50%に
～ 「プロロジスパーク千葉」全体の総契約面積は 150,000 m²に ～

物流不動産の所有・運営・開発のリーディング・グローバル企業であるプロロジス(日本本社:東京都千代田区丸の内、代表取締役社長:山田 御酒)は千葉県千葉市で開発中の「プロロジスパーク千葉 2」において、国内大手 3PL 企業と新たに約 30,000 m²の賃貸借契約を締結したことを発表しました。

これにより、「プロロジスパーク千葉 2」は 2020 年 11 月の竣工に先立ち契約率 50%となりました。また、同じ敷地内に一体開発し 2019 年 9 月に竣工した「プロロジスパーク千葉 1」でも最終区画の賃貸借契約を締結し、契約率が 100%に達しました。「プロロジスパーク千葉」全体では、賃貸可能面積約 180,000 m²のうち約 150,000 m²が契約済みとなりました。未契約区画は「プロロジスパーク千葉 2」の 30,000 m²のみとなり、引き続き入居企業を募集しています。



2019年9月に竣工した「プロロジスパーク千葉 1」(左奥)、2020年11月竣工予定の「プロロジスパーク千葉 2」(右)

この度「プロロジスパーク千葉 2」において契約を締結した国内大手 3PL 企業は、千葉北 IC をはじめとする複数のインターチェンジへの近接性などを評価し「プロロジスパーク千葉 2」への入居を決定しました。同社は「プロロジスパーク千葉 2」の 1・2 階に入居し、千葉市内を中心としたエリア配送の拠点として利用する予定です。



■「プロロジスパーク千葉 2」について

「プロロジスパーク千葉 2」は、約 30,000 m²の敷地に地上 4 階建て、延床面積約 68,000 m²のマルチテナント型物流施設として開発中であり、2020 年 11 月の竣工を予定しています。募集賃貸区画は約 12,000 m²と 17,000 m²のメゾネット型で保管効率と荷捌きの迅速性を両立させており、EC 物流にも利便性の高い設計となっています。

開発地は、千葉湾岸エリアから約 6km に位置し、国道 16 号と東関東自動車道の結節地点です。東関東自動車道「千葉北 IC」からわずか約 3km、京葉道路「穴川 IC」からも約 4km と至近に位置しています。周辺には複数の住宅集積地が広がり、円滑な雇用確保が期待できるエリアです。

「プロロジスパーク千葉 2」計画概要

名 称	プロロジスパーク千葉 2
開 発 地	千葉県千葉市稲毛区六方町 210-1
敷 地 面 積	30,176.41 m ² (9,128.36 坪)
延床面積(予定)	68,211.61 m ² (20,634.01 坪)
構 造	地上 4 階建て、RC 造(一部 S 造)
着 工	2019 年 6 月
竣 工 予 定	2020 年 11 月
詳 細	https://www.prologis-sp.jp/pp_chiba2/

本プレスリリースに関するお問い合わせ先
プロロジス 広報室

報道関係者お問い合わせフォーム
https://f.msgs.jp/webapp/form/11859_dor_73/index.do